

平成26年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ウェストホールディングス

コード番号 1407 URL <http://www.west-gr.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 吉川 隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部部長 (氏名) 椎葉 栄次

TEL 03-5358-5757

四半期報告書提出予定日 平成26年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第2四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第2四半期	27,603	19.9	4,355	41.6	4,103	55.5	2,630	91.1
25年8月期第2四半期	23,015	118.1	3,075	668.3	2,639	846.2	1,376	—

(注) 包括利益 26年8月期第2四半期 2,625百万円 (86.2%) 25年8月期第2四半期 1,410百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第2四半期	96.67	—
25年8月期第2四半期	50.87	50.42

(注) 当社は平成25年9月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

平成26年8月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第2四半期	36,461	8,261	22.6
25年8月期	30,667	6,456	20.9

(参考) 自己資本 26年8月期第2四半期 8,227百万円 25年8月期 6,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年8月期	—	0.00	—	60.00	60.00
26年8月期	—	0.00	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年9月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成25年8月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,611	39.6	8,457	31.3	8,217	39.9	4,520	44.7	166.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年9月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年8月期2Q	27,235,200 株	25年8月期	27,220,500 株
② 期末自己株式数	26年8月期2Q	16,166 株	25年8月期	16,166 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年8月期2Q	27,214,080 株	25年8月期2Q	27,065,646 株

(注) 当社は平成25年9月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府による経済対策や日銀による金融緩和策等の影響により、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなど緩やかな景気回復の基調が見られました。一方新興国を中心とする海外景気の下振れ懸念や円安による輸入物価の上昇、消費税増税後の個人消費への影響など国内外の懸念材料を払拭することが出来ず、先行きは依然として不透明感が残る状況のまま推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、「再生可能エネルギーの全量買取制度」及び「環境関連投資促進税制」等、再生可能エネルギー推進のための積極的な政府施策の影響を受け、住宅分野からメガソーラー発電所（大規模太陽光発電所）等の産業分野までの太陽光発電システム需要が幅広く拡大する中で、経営資源を一層集中し、幅広い顧客層に向けて材料調達・施工・販売など広範囲に事業を展開いたしました。

また、従来から行っている住宅用太陽光発電システムのアフターサービス・メンテナンス業務に加え、市場が急速に拡大しているメガソーラー及び産業用太陽光発電システムのO&M（オペレーションアンドメンテナンス）事業も推進していく中で、2016年の電力小売りの全面自由化を見据えて、特定規模電気事業者の届出を行う一方で、全国の地方自治体保有施設の屋根や土地を一括で借り受け、今期20MWの太陽光発電設備を所有する計画など積極的にエネルギー事業拡大に向けた展開を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は276億3百万円（前年同四半期比19.9%増）、営業利益を43億55百万円（前年同四半期比41.6%増）、経常利益を41億3百万円（前年同四半期比55.5%増）計上し、四半期純利益を26億30百万円（前年同四半期比91.1%増）計上いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① グリーンエネルギー事業

今年2月の関東甲信地方に記録的な大雪が二度も降ったことにより、対象となる地域の工事が大幅に遅延したことや前期より注力している大手パワービルダー向けの新築戸建住宅向け太陽光発電システムの搭載率が低下したことによる一方で、売上高構成比の高いメガソーラーを含む産業用の太陽光発電システムの需要が多く売上総利益率も上昇したため、売上高及び営業利益は順調に増加いたしました。

以上の結果、売上高は273億35百万円（前年同四半期比24.4%増）、営業利益は47億56百万円（前年同四半期比42.6%増）となりました。

② エコリフォーム事業

エコリフォーム事業については、従来からの計画に従い人材を一層成長分野であるグリーンエネルギー事業に集中したために売上高が減少しております。

以上の結果、売上高は2億61百万円（前年同四半期比74.6%減）、営業利益は17百万円（前年同四半期比58.2%減）となりました。

③ その他の事業

その他事業の売上高は6百万円（前年同四半期比49.1%減）、営業損失3百万円（前年同四半期は営業利益7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、57億93百万円増加し、364億61百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末比39億87百万円増加し、281億99百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末比18億5百万円増加し82億61百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加25億62百万円、商品の増加30億6百万円によるものであります。

(負債)

負債の増加の主な要因は、借入金及び社債が54億88百万円、未成工事受入金及び前受金が15億53百万円増加した一方、支払手形及び買掛金の減少23億60百万円、未払法人税等の減少7億98百万円によるものであります。

(純資産)

純資産の増加は、四半期純利益を26億30百万円計上した一方、配当金の支払8億16百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ25億40百万円増加し、135億98百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、17億46百万円（前年同四半期は38億70百万円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を40億74百万円計上した一方、法人税等の支払23億26百万円、たな卸資産の増加36億77百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億51百万円（前年同四半期は19億70百万円の支出）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出1億62百万円、関係会社貸付けによる支出90百万円、保険積立金の積立による支出83百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、46億38百万円（前年同四半期は20億79百万円の収入）となりました。主な要因は、借入金が純額で55億77百万円増加、配当金の支払額8億16百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の通期連結業績予想につきましては、本日公表の「平成26年8月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」のとおり、平成25年10月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,695,796	14,258,700
受取手形及び売掛金	1,067,921	1,758,284
完成工事未収入金	9,217,529	7,471,450
商品	2,404,897	5,411,254
販売用不動産	131,516	258,081
未成工事支出金	1,818,198	2,167,634
原材料及び貯蔵品	110,638	306,117
繰延税金資産	313,179	223,408
その他	1,157,720	1,624,798
貸倒引当金	△150,998	△142,239
流動資産合計	27,766,401	33,337,490
固定資産		
有形固定資産	1,350,036	1,240,197
無形固定資産		
のれん	36,043	—
その他	105,400	94,751
無形固定資産合計	141,443	94,751
投資その他の資産		
投資有価証券	786,393	741,895
長期貸付金	137,910	221,823
繰延税金資産	20,000	194,650
その他	662,418	840,763
貸倒引当金	△196,807	△210,472
投資その他の資産合計	1,409,915	1,788,660
固定資産合計	2,901,395	3,123,609
資産合計	30,667,797	36,461,100

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,841,456	3,481,230
工事未払金	2,160,024	2,914,968
1年内償還予定の社債	177,000	171,000
短期借入金	6,077,041	9,031,836
未払法人税等	2,191,718	1,393,634
賞与引当金	33,920	32,530
役員賞与引当金	25,000	—
資産除去債務	1,711	—
その他	2,975,597	3,858,684
流動負債合計	19,483,468	20,883,883
固定負債		
社債	157,500	75,000
長期借入金	4,435,233	7,057,472
資産除去債務	24,316	24,483
繰延税金負債	4,062	—
その他	107,149	158,395
固定負債合計	4,728,262	7,315,351
負債合計	24,211,730	28,199,234
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,020,626	2,020,918
資本剰余金	727,854	728,146
利益剰余金	3,683,182	5,497,940
自己株式	△10,765	△10,765
株主資本合計	6,420,898	8,236,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,200	△8,879
その他の包括利益累計額合計	△4,200	△8,879
新株予約権	423	—
少数株主持分	38,945	34,506
純資産合計	6,456,066	8,261,866
負債純資産合計	30,667,797	36,461,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
売上高	23,015,249	27,603,529
売上原価	16,345,795	19,570,874
売上総利益	6,669,453	8,032,654
販売費及び一般管理費	3,594,311	3,676,745
営業利益	3,075,142	4,355,908
営業外収益		
受取利息	1,563	12,677
受取配当金	2,571	1,180
持分法による投資利益	18,185	—
受取手数料	73,942	21,544
その他	14,108	13,300
営業外収益合計	110,371	48,702
営業外費用		
支払利息	76,167	103,533
貸倒引当金繰入額	56,190	—
持分法による投資損失	—	153,969
為替差損	392,477	—
シンジケートローン手数料	17,642	15,495
その他	3,860	28,246
営業外費用合計	546,338	301,245
経常利益	2,639,175	4,103,365
特別利益		
持分変動利益	1,145	—
新株予約権戻入益	—	370
特別利益合計	1,145	370
特別損失		
固定資産売却損	140,377	—
減損損失	7,331	29,119
特別損失合計	147,708	29,119
税金等調整前四半期純利益	2,492,612	4,074,616
法人税、住民税及び事業税	888,975	1,530,299
法人税等調整額	225,287	△86,214
法人税等合計	1,114,263	1,444,084
少数株主損益調整前四半期純利益	1,378,348	2,630,531
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,388	△356
四半期純利益	1,376,959	2,630,888

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,378,348	2,630,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,186	△4,678
その他の包括利益合計	32,186	△4,678
四半期包括利益	1,410,535	2,625,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,409,146	2,626,209
少数株主に係る四半期包括利益	1,388	△356

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,492,612	4,074,616
減価償却費	60,624	61,841
減損損失	7,331	29,119
のれん償却額	91,919	35,907
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,867	△1,390
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△25,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	56,190	3,622
受取利息及び受取配当金	△4,135	△13,857
支払利息	76,167	103,533
シンジケートローン手数料	17,642	15,495
株式交付費	—	98
固定資産売却損益(△は益)	140,377	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2,287
売上債権の増減額(△は増加)	△2,397,242	1,029,166
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,355,893	△3,677,836
前渡金の増減額(△は増加)	△116,279	△368,766
仕入債務の増減額(△は減少)	4,221,036	△1,576,482
未成工事受入金の増減額(△は減少)	827,072	1,216,096
未収入金の増減額(△は増加)	8,350	3,888
未払金の増減額(△は減少)	△115,296	△337,880
未払消費税等の増減額(△は減少)	16,044	△195,673
前受金の増減額(△は減少)	245,281	339,694
その他	△21,918	△33,993
小計	4,253,752	679,912
利息及び配当金の受取額	3,581	12,368
利息の支払額	△76,086	△111,990
法人税等の支払額	△310,899	△2,326,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,870,348	△1,746,167

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	500,000
有価証券の取得による支出	—	△499,938
投資有価証券の売却による収入	—	3,339
投資有価証券の取得による支出	△301,900	△162,096
有形固定資産の売却による収入	444,700	48,000
有形固定資産の取得による支出	△44,117	△47,655
無形固定資産の取得による支出	—	△8,868
資産除去債務の履行による支出	—	△1,281
定期預金の預入による支出	△565,000	△22,000
敷金及び保証金の回収による収入	14,747	15,181
敷金及び保証金の差入による支出	△1,545,851	△58,652
長期貸付金の回収による収入	22,295	12,186
長期貸付けによる支出	△11,583	△6,620
関係会社株式の売却による収入	—	52,260
関係会社貸付けによる支出	—	△90,000
保険積立金の積立による支出	—	△83,872
その他	15,990	△1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,970,719	△351,015
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,942,034	1,267,931
長期借入れによる収入	2,600,000	6,910,000
長期借入金の返済による支出	△1,933,475	△2,600,897
社債の償還による支出	△88,500	△88,500
株式の発行による収入	162	431
自己株式の取得による支出	△1,635	—
配当金の支払額	△403,941	△816,272
シンジケートローン手数料の支払額	△17,446	△15,745
リース債務の返済による支出	△18,194	△18,934
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,079,003	4,638,012
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,978,632	2,540,828
現金及び現金同等物の期首残高	5,565,259	11,057,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,543,892	13,598,515

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	グリーンエネ ルギー事業	エコリフォー ム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,970,167	1,032,570	23,002,738	12,511	23,015,249	—	23,015,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,970,167	1,032,570	23,002,738	12,511	23,015,249	—	23,015,249
セグメント利益	3,336,366	40,751	3,377,117	7,733	3,384,851	△309,708	3,075,142

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材業者への材料販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△309,708千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社グループ管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	グリーンエネ ルギー事業	エコリフォー ム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,335,196	261,969	27,597,165	6,363	27,603,529	—	27,603,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	27,335,196	261,969	27,597,165	6,363	27,603,529	—	27,603,529
セグメント利益又は損 失(△)	4,756,357	17,046	4,773,403	△3,055	4,770,347	△414,439	4,355,908

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△414,439千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社グループ管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

売却方針決定等に伴い、報告セグメントに帰属しない全社資産の一部について、売却予定の土地の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては29,119千円であります。